

先生と一緒にいることで、そこが安心出来る場所 = 自分の居場所となり幼稚園が落ち着ける場所になってきました。その中で自分のしたい遊びを見つけて繰り返しやったり先生や友だちに伝えたりしながら遊びを楽しみます。

《キーワード》

1学期(前半)

先生と一緒に!

おや何だろう?

1学期(後半)

やってみようかな?

わっきもちいい!

大好きなもの
見つけた!

2学期(前半)

自分でやってみよう

先生見て!

遊ぶの大好き

2学期(後半)

一緒に遊ぼう!

自分でできるよ

いいもの見つけた

生活

身支度や着替えなどを通して自分で出来ることが少しずつ増えてきます。着替えた服を自分できれいに畳んで袋に入れるなど、初めは「やって」と言っていたことも、周りのお友だちがやっているのを見て、自分もやってみようという気持ちになります。身の回りの始末を最後まで自分ですることが習慣づいてきたり、友だちを手伝ってあげようとする姿も見られます。出来た時の「みて!できたよ。」のうれしい声も聞こえるようになります。

友だち

隣り合わせた友だちのしていることに興味を持ち、「じぶんもやってみたい」と思う気持ちが芽生えてきます。友だちと同じ物を持ったり、動きをまねしたりといった様子も見られるようになってきます。また、数人の友だちと一緒に遊ぶ機会が増え、自分の思い通りに行かないことにも出会いますが、友だちとのトラブルを経験する中で自分と相手の思いに「違いがあるのだ」と違いに気づき始めます。

あそび

手遊び、リズム遊び、歌、絵本や紙芝居をみんなで見るといった時間を共有し、「みんなと一緒に楽しい」と感じられる活動を取り入れていきます。また、紙を丸めて「おにぎり」と見立てて楽しんでいたのが、少しずつ自分から「こういう物を作りたい」とイメージするようになり、それは後にお店屋さんごっこなどに発展していきます。

自然

園庭の木々の色が変わるこの季節は、園庭のあちらこちらで落ち葉のケーキ作りが始まります。ケーキのトッピングにはどんぐりやまつぼっくり、赤い実もあります。友だちと並んで一緒に作る楽しさや、それを先生に見てほしい気持ちがどんどん高まります。このように自然物を使って、形にしたり、デザインしたり創意工夫する力が育ちます。森のおさなご広場では落ち葉の上を歩き、カサカサという音を楽しんだりいろんな色の落ち葉を拾ったり集めたりして視覚・聴覚・触覚・嗅覚といった五感を養うような活動を意識して取り入れます。



こんなにたかくなつたよ



おはなをかざりつけて
おいしそうなケーキの出来上がり



お椀をつかって
いっぱいプリンを作ったよ

1学期のあそびのあしあと



色水お花を浮かべて
きれいなジュースのできあがり



塩こしょうをして味付け!
おいしくなれ



粘土を細くして
次はこまかく切っています

園庭では同じ砂場で同じ道具で遊んでいても、学年によって遊び方は様々です。同じ「水を流す」でも年少組では砂場のふちを利用してとゆに傾斜をつけて水が流れていくのを楽しみます。年中組ではお椀をとゆの下にかまして、傾斜をつけ自分たちの始めたい場所で好きな角度を見つけて遊びます。年長組になると、遊び方もダイナミックです。水道から砂場までどうしたら水が運べるかを考え、とゆをつなげて、木箱やラックを使い傾斜をつけ水を流していきます。同じ道具を使っても学年が上がるにつれて、考えも深まり遊びの幅がどんどん広がっていきます。園庭では他学年と一緒に遊ぶように設定もしています。年下の子は年上の子のまねをして遊び方もどんどん変わっていきます。



2学期【年中】育ちと活動の様子

運動会などの活動を通して友だちのことを考えたり、一緒に取り組む方法を少しずつ知っていきけるようにします。
1学期に興味を持ったことをさらに深めていく楽しさを感じてもらいたいです。

《キーワード》

1学期(前半)

友だちいっぱい
うれしいな
これであそぼう!
一緒にあそぼう!

1学期(後半)

いーれて、いいよ!
きてきて
いいものみつけた!

2学期(前半)

こんなことも
できるよ!
ねえ、あそぼうよ!

2学期(後半)

こうしたらいいね!
よっというて、
一緒に遊ぼうよ!

生活 どこに何があるのかを知ったり、お部屋での活動も慣れていきました。
2学期は自分の持ち物の管理や、遊んだ後の片付けも協力してきれいにするという事を意識していきたいと思えます。
また朝の会の際に一日の活動を先生から聞いて、楽しみや期待感を持てるようにしたり、1学期の経験から自ら流れを把握し、安心して一日を過ごせるようにしていきます。

友だち

一緒にのクラスの友だちという意識を持ち、友達の輪が広がってきました。
友だちの遊んでいる様子を見て真似してみたり、様々な友達と遊ぶ中で気の合う友達を見つけていきます。
行事や日々の活動を通して“一緒にする”楽しさを感じ、協力する方法を知ったり、同じ目的に向かって取り組む事で、友だちとの関係も深まっています。

あそび

それぞれの遊びのコーナーの使い方を知り、そこからみんなで発展させたり、必要なものを考えて時には一緒に準備をしたりします。
また、自分が知っていることを友達に“やってあげる”のではなく、“教えてあげる”方法も少しずつ知っていきけるようにします。
なんで?どうして?と遊びの中で気になった事を一緒に考えたり、共有していく中で、探求する楽しさを知っていきます。

自然

夏から秋へ、園庭や森の木々の変化を見て、触れて、感じられるよう自然がテーマの絵本を見たり、日々の活動の中で気付いていったり、自然物を使った遊びも準備していきます。
生き物の変化にも気づき、図鑑などで調べて飼育に最適な環境を考えて整えたり、命の大切さを感じながら観察することを楽しんでいきます。



紙コップを使って自分たちより大きな作品が出来上がり!



セロハンを使ってステンドグラス風



自分たちで作ったものでキャンプごっこ

1学期のあそびのあしあと



ケーキ屋さん
どのケーキがいいですか?



ランチョンマットを敷いて
みんなでピクニック



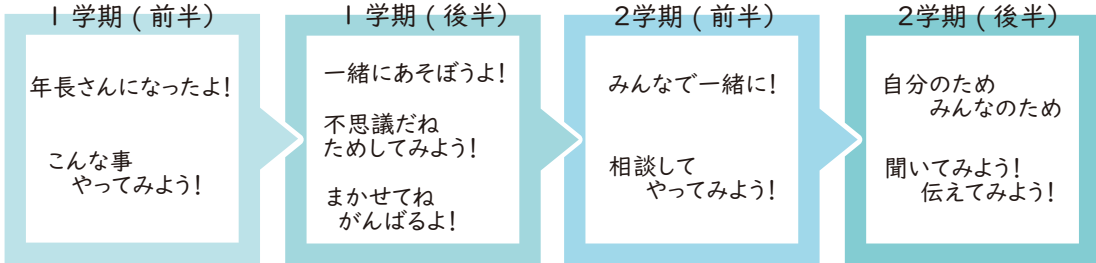
水性ペンで作った色水
太陽の光でキラキラ輝いているね

園庭では同じ砂場で同じ道具で遊んでいても、学年によって遊び方は様々です。
同じ「水を流す」でも年少組では砂場のふちを利用してとゆに傾斜をつけて水が流れていくのを楽しみます。
年中組ではお椀をとゆの下にかまして、傾斜をつけ自分たちの始めたい場所で好きな角度を見つけて遊びます。
年長組になると、遊び方もダイナミックです。水道から砂場までどうしたら水が運べるかを考え、とゆをつなげて、木箱やラックを使い傾斜をつけ水を流していきます。
同じ道具を使っても学年が上がるにつれて、考えも深まり遊びの幅がどんどん広がっていきます。
園庭では他学年が一緒に遊べるように設定もしています。
年下の子は年上の子のまねをして遊び方もどんどん変わっていきます。



少しずつクラスの仲間意識も高まりはじめ、活動に意欲的に参加しようという姿が1学期・年長の日を経て見られるようになりました。
2学期もクラス・学年での活動を通じ、子ども達の仲間意識は更に高まります。
子ども達がそれぞれに自分の中での自信を少しずつ成長させていけたらと願っています。

《キーワード》



生活 園内のみんなで使う場所など、自分の為だけではなく「みんな」を意識して使用する意識が芽生えてほしいと思います。
片付け等でも整ったことに気持ちよさや満足感が得られる様に保育者が共感することで意欲に繋げて行けたらと思います。
集団生活の中で思いやりの気持ちを大切に生活していきましょう。

友だち 一緒に遊ぶ人数が徐々に増え役割分担をし、遊びを作り出そうとする姿が増えていきます。
それと共に、子ども同士の意見がぶつかる事も増えてはいますが、お互いの思いに折り合いをつけること。
友達の色々な考えに触れられるように。
必要に応じて保育者が支えながら子ども達の社会がより広がる事をねらいとします。

あそび 制作遊び等は、イメージをもって取り組み、自分で作ったものを日々発展させていく姿が更に見られると思います。困っていることがあっても友達や保育者に自ら相談する姿もあるでしょう。
外遊びでは運動会を経験し、リレー等を自分達でチームを作って盛り上がり遊べる姿が予測されます。
経験と工夫を積み上げ、遊びにより厚みと面白さが出てきます。

自然 生き物は、図鑑を見て友達や保育者の話を聞きながら正しい名前や飼育方法を知ろうとし興味関心が高まっています。生き物の「いのち」の大切さや扱い方等は保育者が関わり丁寧に声を掛けていこうと思います。
また、自分達で育てている作物の生長をみんなで喜べたらと思います。
気候が変化する2学期は、園庭や森の様子の変化にもいち早く年長さんが気付いてくれることを期待します。



お花で作った色水でジュース屋さん
どれがいいですか?



紙に垂らした絵の具をストローで「ふー」。
どんな模様ができあがるかな?



トンネルのできあがり。
崩れないようにやさしく固めよう



水性ペンで模様を描いて
水でにじませます



こんな積み方もできるよ
いろいろな積み方に挑戦中



みんなの身長より高くなった
崩さないように慎重に慎重に...

1学期のあそびのあしあと

園庭では同じ砂場で同じ道具で遊んでいても、学年によって遊び方は様々です。
同じ「水を流す」でも年少組では砂場のふちを利用してとゆに傾斜をつけて水が流れていくのを楽しみます。
年中組ではお椀をとゆの下にかまして、傾斜をつけ自分たちの始めたい場所で好きな角度を見つけて遊びます。
年長組になると、遊び方もダイナミックです。水道から砂場までどうしたら水が運べるかを考え、とゆをつなげて、木箱やラックを使い傾斜をつけ水を流していきます。
同じ道具を使っても学年が上がるにつれて、考えも深まり遊びの幅がどんどん広がっていきます。
園庭では他学年と一緒に遊ぶように設定もしています。
年下の子は年上の子のまねをして遊び方もどんどん変わっていきます。

